

いつも心に川がある

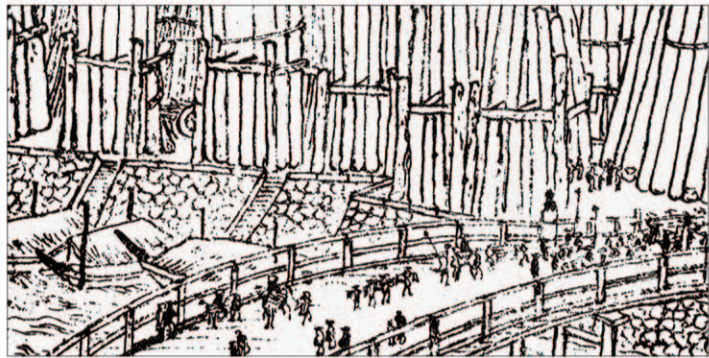
堀川まちづくりの会企画展

舟運・筏・川遊び 堀川のにぎわい

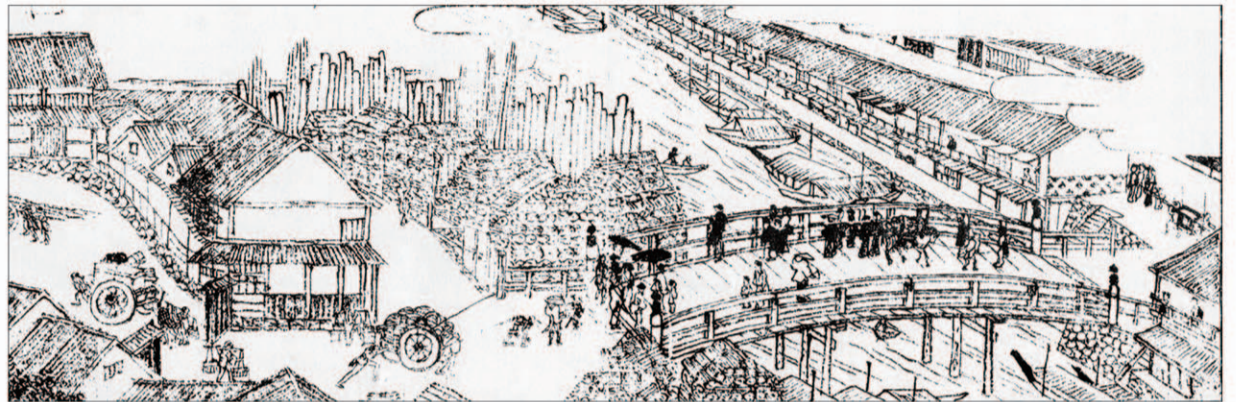
堀川を行くはしけといかだ筏 江戸時代

名古屋への幹線輸送路で身近な水辺だった堀川は、多くの舟や筏が行き来していた。活気あふれる姿を、昔の絵や写真でたどってみよう。

江戸時代の風景



伝馬橋 ここでも苦舟が係留
(尾張名陽図会 以下名陽)



五条橋西岸には荷揚げした舟が係留 (名陽)



納屋橋東南 年貢米を陸揚げして藩蔵へ (尾張名所図会 以下名所)



今の新州崎橋上流「出入りの船絶ゆる事なし」と言われたにぎわい (名所)



日置橋 詩情あふれる川舟の行き来
(名区小景)

日置橋 花見の時期は大にぎわい
(尾張年中行事絵抄)



日置橋付近
心浮き立つ花見へ出船
(名府之里)



尾頭橋 岸には木材、水面には舟 (名陽)

河口近くの白鳥には御材木場
岸の丸太は筏で城下へ (名所)

